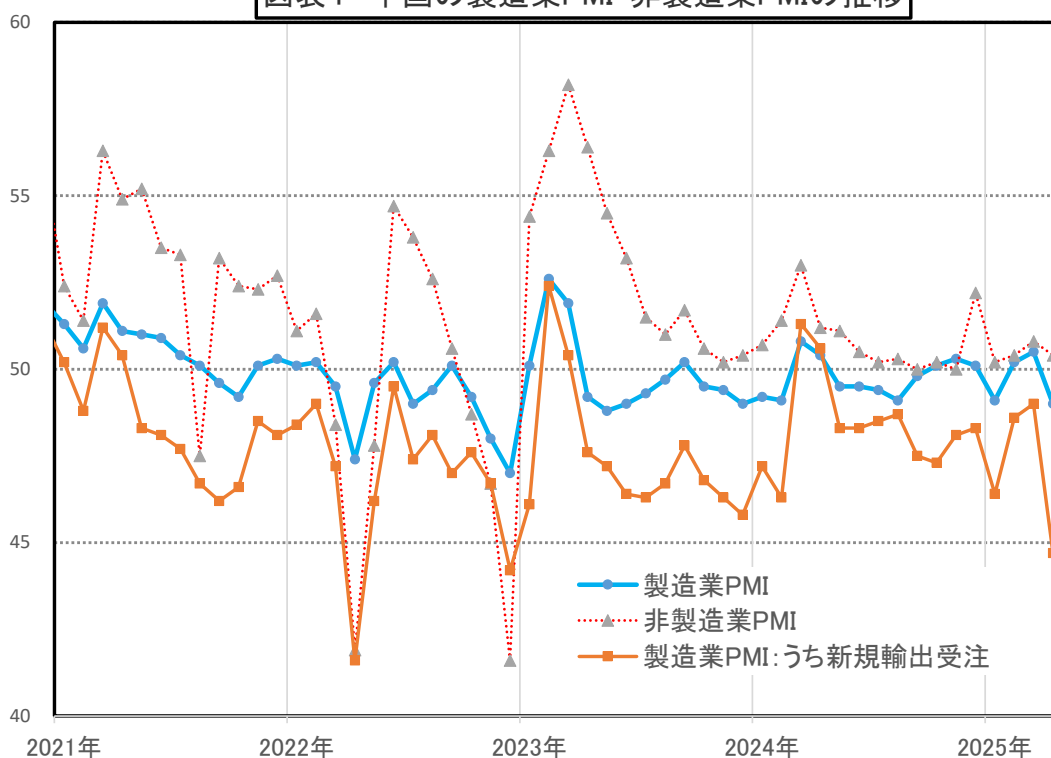


(中国)トランプ関税の悪影響で再び 50 割れとなった 4 月の製造業 PMI

4 月入り後の米トランプ政権による関税強化策をめぐり米中間の激しい応酬合戦が繰り広げられ、企業マインドへの影響が大きく懸念されている。中国国家統計局が 4 月 30 日に発表した 2025 年 4 月の製造業 PMI(購買担当者景気指数)は 49.0 と判断基準の 50 を再び割り込んだ(図表 1)。

図表1 中国の製造業PMI・非製造業PMIの推移



(資料) 中国国家統計局、Windより作成、直近は25年4月。

製造業 PMI のサブ指数を確認すると、4 月の新規受注と新規輸出受注はそれぞれ 49.2、44.7 といずれも 50 割れとなった。特に、米国が中国からの輸入品に高関税を賦課したほか、海外経済の下振れに伴う外需の弱さもあり、新規輸出受注は 3 月から 4.3 ポイントも低下した。また、輸入と出荷価格はそれぞれ 43.4、44.8 といずれも 3 月から大きく低下した。このように内外需要の弱さに加えて出荷価格の下落から生産も 49.8 と 50 を下回った。

一方、4 月の非製造業 PMI は 50.4 と 3 月からやや低下したものの、50 を上回った。建設業は 51.9 と底堅く推移したが、うち土木工事が 60.9 と 3 月から 6.4 ポイントも上昇した。また、サービス業の PMI も 50.1 と 3 月からやや低下したものの、50 超を維持した。

このようにトランプ関税による中国の製造業への悪影響が見て取れる。米中対立が当面続く可能性が高く、関税による中国経済への悪影響を緩和するため、今後数か月で新たな景気刺激策が打ち出されるとみられる。